

大洋州の大学軒並み高評価 持続可能性対象のランキング

持続可能な世界の構築に向けた大学の取り組みが社会にどれほど影響を与えているかを評価した「世界大学ランキング：持続可能性」を英国の高等教育評価機関「クアクアレリ・シモンズ（QS：Quacquarelli Symonds）」が公表した。東京大学が22位とアジア地域では最上位に評価されたが、他に100位内に入った日本の大学はない。中国本土から100位内に入った大学はなく、上位10位以内に3大学、100位内に22大学が入った太平洋地域とアジア地域の大学に対する評価の大きな差が目を見く。

持続可能性に特化した評価

QSは、「学術関係者からの評判」、「教員一人当たりの論文被引用数」、「学生一人当たりの教員比率」、「雇用者からの評判」などを評価指標とする世界大学ランキングを毎年公表している。5日公表された「世界大学ランキング：持続可能性2024」は、世界大学ランキングで総合評価の配点比率が5%である「持続可能性（Sustainability）」のみを評価指標としたランキング。「社会への影響」、「環境への影響」に加え、「統治（ガバナンス）」という三つの評価指標からなる。「社会への影響」が見るのは、学生に対する指導など社会をより良い方向に変革するために大学が行っている取り組み。「環境への影響」には2015年の国連総会で採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」に沿った研究に対する評価などが含まれている。

「QS世界大学ランキング：持続可能性」アジア・太平洋地域上位200大学

順位	QS世界大学 ランキング2024 順位	THE世界大 学ランキン グ2024順位	大学名	国・地域
5	68	=150	オークランド大学	ニュージーランド
7	=19	60	シドニー大学	オーストラリア
9	14	37	メルボルン大学	オーストラリア
=11	=19	84	ニューサウスウェールズ大 学	オーストラリア
22	28	29	東京大学	日本

23	42	54	モナシュ大学	オーストラリア
=26	8	19	シンガポール国立大学	シンガポール
=30	=34	67	オーストラリア国立大学	オーストラリア
36	43	70	クイーンズランド大学	オーストラリア
40	243	—	グリフィス大学	オーストラリア
43	90	148	シドニー工科大学	オーストラリア
=46	41	62	ソウル大学	韓国
48	206	—	オタゴ大学	ニュージーランド
49	89	=111	アデレード大学	オーストラリア
=50	=26	32	南洋理工大學	シンガポール
57	=130	180	マッコーリー大学	オーストラリア
=62	140	251-300	ロイヤルメルボルン工科大学	オーストラリア
=62	162	201-250	ウーロンゴン大学	オーストラリア
66	=233	—	ディーキン大学	オーストラリア
74	=173	—	ニューカッスル大学	オーストラリア
=81	=239	501-600	マッセー大学	ニュージーランド
=81	=241	401-500	ヴィクトリア大学ウェリントン	ニュージーランド
=86	=256	501-600	カンタベリー大学	ニュージーランド
=89	=183	201-250	カーティン大学	オーストラリア
=94	69	=152	国立台湾大学	台湾
99	250	401-500	ワイカト大学	ニュージーランド
100	=189	=199	クイーンズランド工科大学	オーストラリア
=101	=375	301-350	西シドニー大学	オーストラリア
=101	=26	35	香港大学	香港
=103	=415	—	ジェームズクック大学	オーストラリア
=103	=74	76	延世大学	韓国
112	380	—	フリンダース大学	オーストラリア
=114	=47	53	香港中文大学	香港
=121	=164	301-350	漢陽大学	韓国

123	=307	—	タスマニア大学	オーストラリア
=124	79	201-250	高麗大学	韓国
=124	46	=55	京都大学	日本
131	228	501-600	国立成功大学	台湾
=132	=65	251-300	マラヤ大学	マレーシア
=132	=326	301-350	南オーストラリア大学	オーストラリア
142	50	44	復旦大学	中国
147	216	=185	同済大学	中国
=152	=332	201-250	慶熙大学	韓国
154	15	43	上海交通大学	中国
=161	=145	=145	成均館大学	韓国
=164	113	=130	東北大学	日本
=166	242	251-300	ラ・トロブ大学	オーストラリア
168	196	351-400	北海道大学	日本
=170	=164	301-350	九州大学	日本
=172	=65	=87	香港理工大学	香港
=177	60	=64	香港科技大学	香港
=185	=176	201-250	名古屋大学	日本
=197	211	601-800	チュラーロンコーン大学	タイ
200	70	82	香港城市大学	香港

(「QS World University Rankings:Sustainability2024」,「QS World University Rankings2024」,タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「World University Rankings 2024」,から作成: =は同順位が存在を示す。—は順位なし)

ランキング1位の評価を得たのはカナダのトロント大学。次いで2位カリフォルニア大学バークレー校(米国)、3位マンチェスター大学(英国)、4位ブリティッシュコロンビア大学(カナダ)と続くが、5位にニュージーランドのオークランド大学、7位と9位にオーストラリアのシドニー大学、メルボルン大学と10位内に太平洋地域の3大学が入った。上位100位内にもオーストラリアから16大学、ニュージーランドから6大学が名を連ね、大洋州の大学が持続可能性を重視した取り組みに力を入れていることが分かる。

100位内アジアから5校のみ

一方、アジア地域はどうか。東京大学がアジア地域では最上位の22位に入っ

たものの 100 位内は 26 位のシンガポール国立大学、46 位のソウル大学、50 位の南洋理工大学（シンガポール）、94 位の国立台湾大学と合わせ 5 大学に留まる。QS が 7 月に公表済みの「世界大学ランキング 2024」の結果と比較すると、太平洋地域とアジア地域の大学に対する評価の大きな差がさらにはっきりする。オーストラリア、ニュージーランドから 100 以内に入った 22 大学は、「QS 世界大学ランキング 2024」の順位より、すべて高い順位を得ている。一方、アジア地域の 5 大学は東京大学を除いてすべて順位を下げている。

QS の世界大学ランキングだけでなく、英教育誌「タイムズ・ハイヤー・エデュケーション」(THE) が毎年、公表している「世界大学ランキング」でも近年、アジア地域の大学の高評価が目立つ。特に中国本土の大学の躍進ぶりが際立つ。9 月に公表された THE の「世界大学ランキング 2024」でも、上位 200 位内に昨年の 11 校、一昨年の 10 校より数を増やし 13 校となったことが関心を集めた。

北京大学、清華大学 300 位以下

ところが「世界大学ランキング：持続可能性 2024」で、特に目立つのが中国本土の大学の低い評価。「QS 世界大学ランキング 2024」では 17 位、「THE 世界大学ランキング 2024」でも 14 位と高い評価を得ている北京大学は 331 位、同じく「QS 世界大学ランキング 2024」で 25 位、「THE 世界大学ランキング 2024」で 12 位の清華大学も 364 位と順位の差は著しい。このほか復旦大学 142 位 (QS 世界大学ランキング 50 位、THE 世界大学ランキング 44 位)、同済大学 147 位 (同 216 位、185 位)、上海交通大学 154 位 (同 15 位、43 位)、浙江大学 442 位 (同 44 位、12 位)、南京大学 576 位 (同 141 位、73 位)、武漢大学 519 位 (同 194 位、164 位) と、上位 600 位内に入った有力大学は、同済大学を除いてすべて QS 世界大学ランキング、THE 世界大学ランキングより順位を大きく落としている。

日本 100 位内に東大だけ

日本の大学の評価も芳しくない。東京大学は 22 位と、QS 世界大学ランキング 28 位、THE 世界大学ランキングを上回る評価を得た。しかし、京都大学 124 位 (QS 世界大学ランキング 46 位、THE 世界大学ランキング 55 位)、東北大学 164 位 (同 113 位、130 位)、北海道大学 168 位 (同 196 位、351-400 位)、九州大学 170 位 (同 164 位、301-350 位)、名古屋大学 185 位 (同 176 位、201-250 位) と、上位 200 位内に入った 6 大学のうち QS、THE いずれの世界大学ランキング順位を上回ったのは東京大学と北海道大学のみとなっている。

「世界大学ランキング：持続可能性」の評価法は、三つの評価指標に対する配点比率が「社会への影響」45%、「環境への影響」45%、「統治（ガバナンス）」10%となっている。「社会への影響」には、持続可能な開発目標(SDGs)を達成するために不可欠とされる不平等の削減や世界中の学術水準の向上に向けた取り組みが含まれている。「環境への影響」では環境への影響を軽減し、持続可能な未来に向けた戦略と運営、「統治」では、SDGsの達成のために必要な優れたリーダーシップ、リーダーを任命する民主的なプロセス、オープンで文書化された意思決定などが評価対象となっている。

他のランキングでも同様結果

持続可能性に関しては、6月に公表された THE の「インパクト・ランキング 2023」でも興味深い結果が示されている。SDGs に対する大学の取り組み、特に 17 番目の目標「持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」に対する取り組みを重視したランキングだ。1位にオーストラリアの西シドニー大学、5位、7位にオーストラリアのタスマニア大学、ロイヤルメルボルン工科大学入ったほか、上位 100 大学にオーストラリアから 16 校、ニュージーランドから 7 校が入るなど、今回の「QS 世界大学ランキング：持続可能性」と似たような結果が示されている。

世界大学ランキングで上位を占める高所得国の著名大学より積極的な中所得国の大学の SDGs に対する取り組みが目立つ中で、中所得国とはいえ高所得国入りを目前にしている中国の大学のインパクト・ランキングに対する関心の低さも THE は指摘していた。清華大学、北京大学、復旦大学、上海交通大学以下、近年、評価が高まる一方の著名大学は軒並みこのランキングの調査自体に参加していない。

日文 小岩井忠道（科学記者）

【関連サイト】

[QS Sustainability University Rankings 2024 | Top Universities](#)

[QS World University Rankings 2024: Top Global Universities | Top Universities](#)

[World University Rankings 2024 | Times Higher Education \(THE\)](#)

【関連記事】

2023年10月10日 [THE 发布世界大学排名，前200名中有5所来自日本](#)

2023年07月07日 [QS 世界大学排名 2024：亚洲大学的跃进势头告一段落？](#)

2023年06月28日 [THE 发布亚洲大学排名：前十中大陆及香港占7所，日本仅东大一家入围排第八](#)

2023年06月15日 [《泰晤士高等教育》大学影响力排名—知名大学低关注！重视SDGs的是那些中等收入国家的大学](#)

2022年11月22日 [2022 世界大学声誉排名，亚洲首次有两所大学进入前十](#)

2022年10月20日 [《泰晤士高等教育》公布世界大学排行榜：中国排名提升，全球研究实力分布出现变化](#)

2022年06月22日 [2023 年 QS 世界大学排名，亚太地区维持高评价](#)

2021年11月10日 [《泰晤士高等教育》发布世界大学声誉排名，中国大学在人文和社会学领域的评价也在上升](#)